

菜の花だより

【発行】東海みなみ日本共産党後援会（部内資料）
2015年12月 〒319-1112 東海村村松 2401-2
電話／fax 029-284-0761 大名美恵子気付



大名美恵子村議

1954年生まれ
東海村押延 在住
村立須和間小学校卒
村立東海中学校卒
県立日立二高卒
常盤短大幼教科卒
水戸こぼと保育園勤務
新日本婦人の会茨城県
本部勤務
日本共産党北部地区委
員会勤務
2000年1月の村議選で
初当選…現在に至る

だれの子も戦争に送らない

いのち・くらし・平和が一番

師走を迎えました。お変わりありませんか。
みなさんに支えていただきながら、まもなく4期16年の議員生活が終わろうとしています。
村民のいのち、暮らし、安全・安心と、子どもたちのすこやかな成長のために、ひた走りにとりくんでまいりました。

戦後70年、東海村発足60年の今年、安倍政権は、自衛隊を殺し殺される戦地に送る法律を強行に成立させました。真っ先に海外に送られると言われる北海道の自衛隊。若い自衛隊員の除隊がつづき、隊員の補いのために、18歳～26歳の青年がいる家庭を自衛隊が訪問し、入隊の勧誘を行っているそうです。若者が戦場に送られる心配がこんなにも早い形で表れるなんて。戦争法は、絶対に廃止しなければなりません。

戦争法を廃止する新しい政府を、多くの個人・団体・野党が力をあわせ作りましょう。国政選挙で野党が共同し、戦争法廃止の国会議員をたくさんにしましょう。私は、そのために全力をつくします。ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

村民の願い実現には、日本共産党の2議席が、どうしても必要です。



開かれた議会のためにも がんばってきました

日本経済の低迷が続く中、他の自治体議会では、次々と公費を使った議会の海外視察を中止しました。私たち党村議団は、「東海村も公費を使った海外視察は中止しよう」と、前期まで呼びかけ続け、私たちは参加しませんでした。前期2012年1月までの村議会では、海外視察を行っていましたが、今期(2012年2月～)から中止になりました。

また、議会委員会の「傍聴を本会議と同じようにしよう」、「議会としての報告会を開こう」など提案し、実現してきました。ますます民主的で、住民に開かれた議会となるよう引き続きがんばります。

毎議会、一般質問に立ちみなさんの 声を村政に届けてきました

これまでに、子どもの医療費無料化や村独自の30人学級、介護保険のサービス利用料への助成、介護保険料引き下げのための一般会計の活用、その他実現してきました。しかし、今村政は、これら国政による住民負担を緩和する村の独自制度を次々やめようとしています。「最小限の」経費で、最大の効果をあげる」方法に切り替えると言うのです。



村民に直接補助することはやめて、「社会保障は、地域みんなで支えあってもらう」と言うのです。国が、憲法にもとづき国民の福祉、社会保障を豊かに築いているのなら、村の独自制度がなくてもいいのでしょうか。しかし、今の国政は、国民負担を引き上げるばかりです。村が負担増を緩和するなどの施策をとらないとしたら、誰が村民の命と暮らしを守るのでしょうか。「住民の福祉の増進をはかる」ことが仕事と言われる村が行うのが当たり前なのです。

私は、引き続き、誰もが安心して暮らせる東海村のために力をつくしてまいります。

毎日のくらしの中で、心配なこと、困ったこと、疑問に思っていること、こうなったらいいのに・・・など、ありましたら、ぜひお寄せください。一緒に取り組みます。

連絡先 携帯電話 090 3961 8578
E-mail toukai@oona-mieko.info



日本共産党演説会のご案内

12月26日(土)午後2時開会
東海文化センター2F 大会議室

弁士 塩川てつや衆議院議員

大名美恵子村議

川崎 篤子村議

小林きょう子参議院茨城選挙区候補

★お誘い合わせでお出かけください★